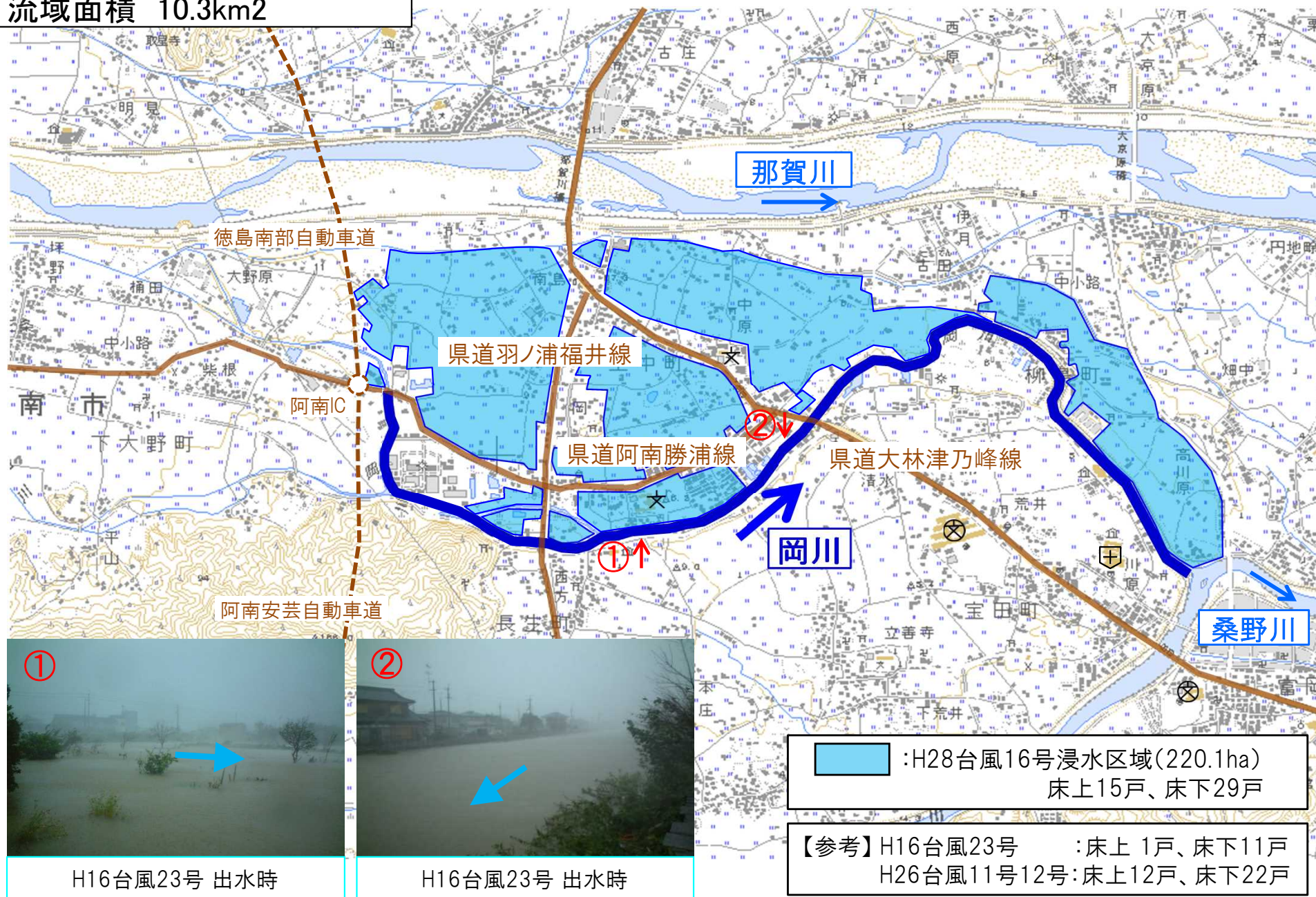


再評価【番号7】河川整備課

広域河川改修事業
一級河川那賀川水系 岡川

1. 河川の概要

- 一級河川 那賀川水系岡川
- 流路延長 8.1km
- 流域面積 10.3km²



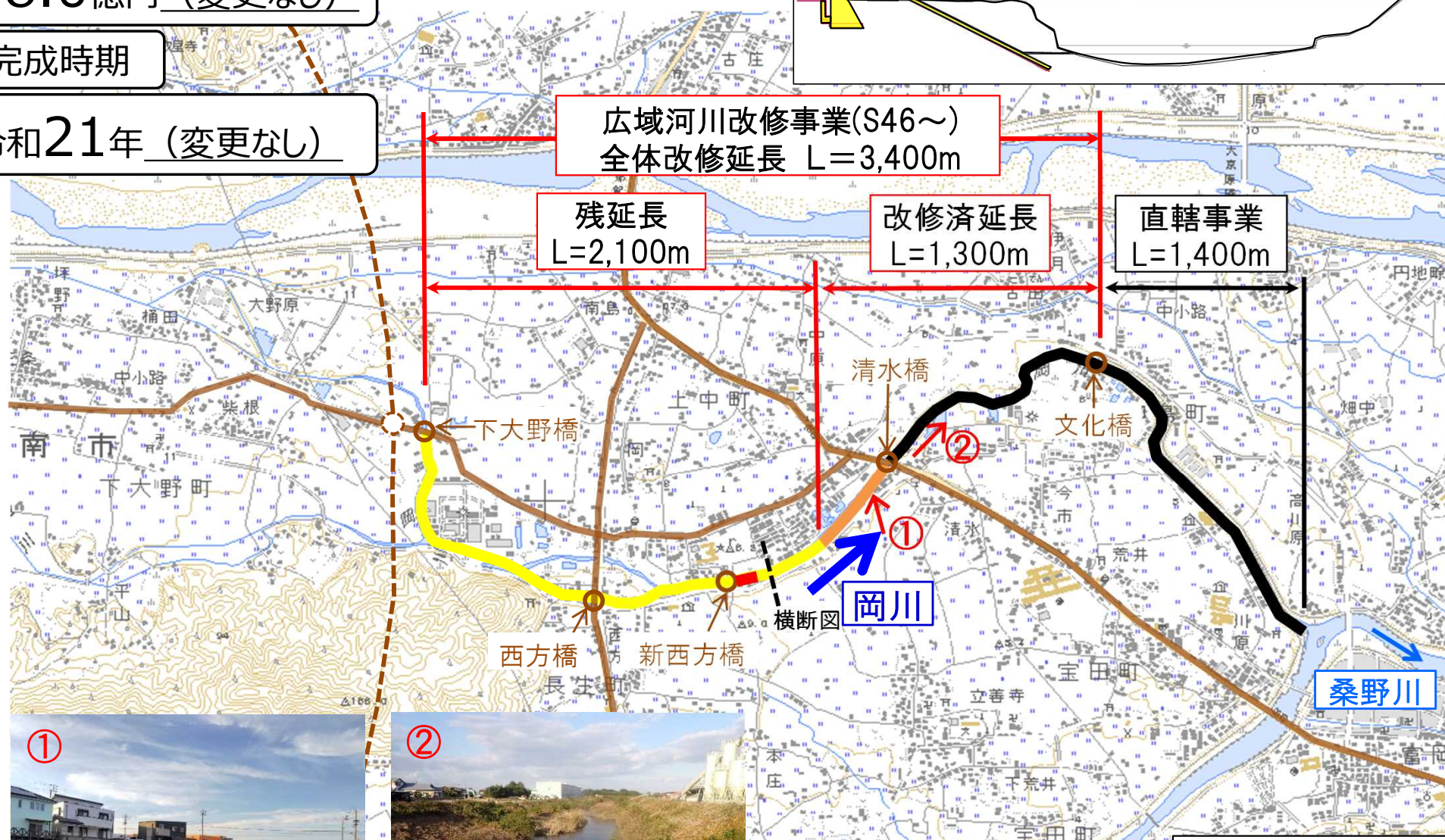
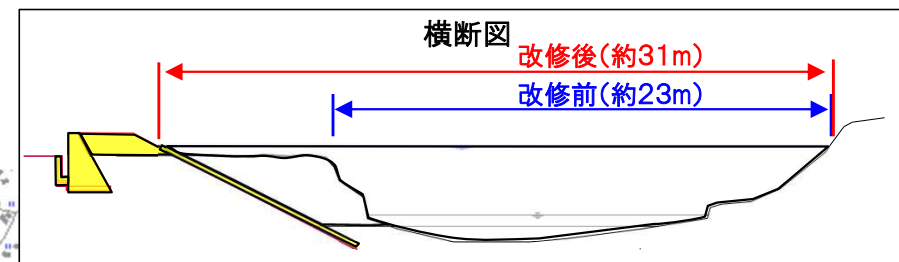
2. 事業概要

全体事業費

58.0億円 (変更なし)

完成時期

令和21年 (変更なし)



《進捗率》
事業費:58%・用地:38%

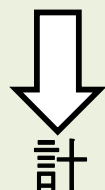
H30迄工事区間 : 黒
R1~R5工事区間 : 橙
R6工事区間 : 赤
R7以降残区間 : 黄

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など



被害軽減期待額

= 便益B

233.6億円

(現在価値化後)

費用C = 99.2億円

(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 2.4$$

経済被害の域内・外への波及被害



出水1回当たり 5.09億円の被害を軽減

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】

交通途絶による被害



出水1回当たり 0.06億円の被害を軽減



出水1回当たり被害額
= 5.15億円

4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	1,495人
浸水区域内の災害時要援護者数	559人

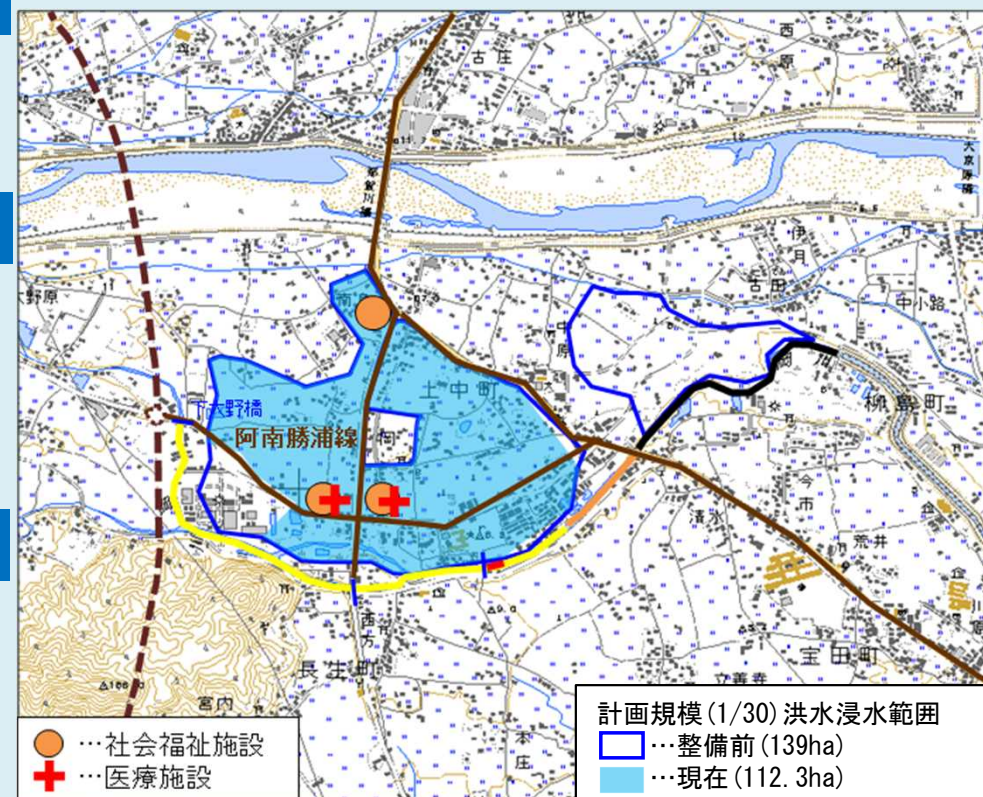
医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する医療施設数	
廣瀬医院など	2施設
機能低下する社会福祉施設数	
キッズベース シーズなど	3施設

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	87人
ガス停止による影響人口	34人
上水道停止による影響人口	2人
通信(固定)の停止による影響人口	87人

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】



「出典: 国土地理院発行2.5万分1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」



廣瀬医院



あなん戸田皮膚科医院



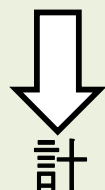
キッズベース シーズ
(社会福祉施設)

5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など



被害軽減期待額

= 便益 B

233.6億円

(現在価値化後)

費用 C = 99.2億円

(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 2.4$$

出水 1 回当たり被害額 = 5.15億円

(交通途絶被害、経済の波及被害)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する医療施設数
- ② 機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 上下水道停止による影響人口
- ④ 通信の停止による影響人口

■ 今後の対応方針（案）

事業継続